

テキストブックシリーズ 公衆栄養学 訂正表

本書において、下記のとおり誤りがございます。訂正してお詫び申し上げます。

	誤（下線部）	正																		
<p>p. 147</p> <p>図 7.4 エネルギー・たんぱく質・脂質・カルシウムの食品群別摂取構成比と摂取量平均値の年次推移</p> <p style="text-align: right;">脂質</p>	<table style="margin: auto;"> <tr> <td>摂取量</td> <td>うち</td> <td>うち</td> </tr> <tr> <td>(g)</td> <td>動物性</td> <td>動物性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(g)</td> <td>(g)</td> </tr> </table>	摂取量	うち	うち	(g)	動物性	動物性		(g)	(g)	<table style="margin: auto;"> <tr> <td>摂取量</td> <td>うち</td> <td>うち</td> </tr> <tr> <td>(g)</td> <td>動物性</td> <td>植物性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>(g)</td> <td>(g)</td> </tr> </table>	摂取量	うち	うち	(g)	動物性	植物性		(g)	(g)
摂取量	うち	うち																		
(g)	動物性	動物性																		
	(g)	(g)																		
摂取量	うち	うち																		
(g)	動物性	植物性																		
	(g)	(g)																		
<p>p. 150</p> <p>②食行動の状況</p>	<p>朝食の欠食率は、男性で <u>15.4%</u>、女性で <u>10.7%</u>である</p> <p>図 7.19。年齢階級別では、<u>男女ともに 20 代の割合が最も高い</u></p> <p>図 7.20。</p>	<p>朝食の欠食率は、男性で 15.5%、女性で 9.1%である</p> <p>図 7.19。年齢階級別では、男性では 40 代、女性では 30 代が最も高く、働き盛り世代の欠食率が高い傾向にある 図 7.20。</p>																		

訂正・正誤等の追加情報につきましては、弊社ホームページ内にて
ご覧いただけます。

<https://www.daiichi-shuppan.co.jp>

(2022.5 1443-9)